

水質汚濁防止法に基づく特定施設設置(使用・変更)届出の手引き

令和 3 年 4 月
福島県水・大気環境課

水質汚濁防止法(昭和 45 年 12 月 25 日法律第 138 号。以下「法」という。)に基づく特定施設(法施行令別表第 1 を参照してください。)を設置するときは、工事に着手する 60 日前までに届出が必要です。記入方法については、下記を参考にしてください。

1 特定施設設置届出

法に基づく特定施設設置届出書は、様式第 1、様式第 8 号(福島県生活環境の保全等に関する条例(平成 8 年 7 月 16 日福島県条例第 32 号。以下「条例」という。)に係る様式。2 ページ(2)参照)、別紙 1～4、別紙 6 及び図面等で構成されます。

別紙 5 は福島県内では該当しないため不要です。

別紙 7～11 は有害物質を含む水を地下浸透させる施設の場合に必要となりますが、本手引きでは省略しています(記入例でも該当しない施設を記入しています。)

別紙 12～15 は①特定施設で有害物質を使用するが、雨水を含め公共用水域に排水しない工場又は事業場のとき、②有害物質を含む水を貯蔵する施設のとき、の 2 つの場合に必要となりますが、本手引きでは省略しています(記入例でも該当しない施設を記入しています。)

(1) 様式第 1 (届出書の表紙)

ア 届出年月日

窓口に提出する年月日を和暦で記入します。

イ 届出者

(ア) 個人の場合

- a 郵便番号、住所、氏名及び電話番号を記入してください。
- b 屋号等があればその名称を併記してください。
- c 住所は必ず番地まで記入してください。

(イ) 法人の場合

- a 法人の代表者が届出者となります。
- b 郵便番号、所在地、法人名称、代表者の職名と氏名及び電話番号を記入してください。
- c 所在地は必ず番地まで記入してください。
- d 工場長等に届出を委任する場合は委任状を添付してください。

ウ 工場又は事業場の名称

個人の場合は氏名又は屋号等を記入してください。

エ 工場又は事業場の所在地

所在地は必ず番地まで記入してください。

オ 特定施設の種類の種類

法施行令別表第 1 に掲げる号番号、施設名称及び施設基数を記入してください。

(環境省ホームページ 法施行令 <http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S46/S46SE188.html>)

施設の種類の種類が多く、欄内に記入しきれない場合は「別添〇〇のとおり」と記入し、別紙を添付しても差し支えありません。

(記入例) 14 イ 原料浸せき施設 3基
23 ホ 蒸解廃液濃縮施設 2基
66 電気めっき施設 15基

カ 有害物質使用特定施設の該当の有無

届出に係る施設について、有害物質使用特定施設（有害物質（法施行令第2条に掲げる物質）を製造し、使用し、又は処理する特定施設）である場合には「有」に、有害物質使用特定施設でない場合は「無」にチェックしてください。

届出に係る施設のうち、一つでも有害物質使用特定施設を含む場合は、「有」にチェックしてください。

(2) 様式第8号（届出書の表紙）

特定施設を設置するときは、条例の当該様式も併せて提出することとなります（条例第41条第1項）。条例上の排水基準（イソキサチオン等の43農薬、ニッケル含有量、水温、色度）が適用になる場合があります。

なお、条例で定める別紙1～10は、法で定める別紙1～11で代用できることから、改めて提出する必要はありません。

ア 届出年月日、届出者、工場又は事業場の名称、工場又は事業場の所在地及び特定施設の種類の種類

1ページ（1）のとおりです。

イ 業種及び事業の内容

届出に係る工場又は事業場の業種及び事業の内容について、日本標準産業分類の細分類（4桁）の番号及びその業種を記入してください。

業種が不明な場合は、窓口の担当者に確認するか、ホームページ（日本標準産業分類（平成25年10月改定）（http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/sangyo/H25index.htm））を参考にしてください。

(3) 別紙1 特定施設の構造

複数の同種施設を設置する場合において、型式、構造等全ての項目が同一であれば、記入欄1列にまとめて記入しても差し支えありません。

ア 工場又は事業場における施設番号

工場又は事業場で付けている施設番号を記入してください。

ただし、番号ではなく名称を付けている場合はそれを記入しても差し支えありません。

複数の同種施設をまとめて記入欄1列に記入する場合、全ての施設番号を記入してください。

イ 特定施設番号及び名称

1ページ（1）オの特定施設の項番号及び施設名称を記入してください。

複数の同種施設をまとめて記入する場合、設置基数も記入してください。

ウ 型式

メーカーカタログ、機器仕様書等から調べて当該施設のメーカー名、型式及び名称を記入してください。

（記入例）〇〇社製××型ろ過機

エ 構造、主要寸法及び配置

欄内に記入できる範囲で、構造、主要寸法及び配置について記入してください。

欄内に記入しきれない場合は「別添〇〇のとおり」と記入し、カタログ、設計図等を添付しても差し支えありません。

なお、8ページ5の（3）～（5）に掲げる資料を必ず添付してください。

オ 能力

当該特定施設から排出される汚水又は廃液の量に関連する能力を記入してください。

原則として定格能力（最大値）を記入します。

（記入例）71 自動式車両洗浄施設の場合：最大〇〇台/時

72 し尿処理施設の場合：処理対象人員〇〇人、処理能力〇〇m³/日

カ 設置年月日

新規の設置届出の場合、記入する必要はありません（7ページ2「特定施設使用届出」の場合、記入します。）。

キ 工事着手予定年月日

特定施設の工事に着手する予定年月日を記入してください。

届出年月日の60日以後の日付となります。

ク 工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日

特定施設の工事の完成予定年月日及び使用を開始する予定年月日を記入してください。

ケ その他参考となるべき事項

当該特定施設の使用目的又は変更届出の際の変更理由及び変更の概要等について記入してください。有害物質使用特定施設である場合には、当該特定施設の設置場所の床面及び周囲の構造並びに有害物質漏洩対策についても記入してください。

欄内に記入しきれない場合は「別添〇〇のとおり」と記入し、記入事項をとりまとめた資料を添付しても差し支えありません。

(4) 別紙1の2 特定施設の設備

別紙1の2は、有害物質使用特定施設である場合に提出してください。

なお、「特定施設の設備」とは、特定施設に付帯する配管、防液堤等が該当します。

ア 工場又は事業場における施設番号

2ページ(3)アと同じです。

イ 特定施設号番号及び名称

2ページ(3)イと同じです。

ウ 設備

当該施設に付随する排水に係る設備を記入してください。

エ 構造、主要寸法及び配置

構造、主要寸法及び配置について記入してください。欄内に記入しきれない場合は「別添〇〇のとおり」と記入し、カタログ、設計図等を添付しても差し支えありません。

オ 設置年月日

新規の設置届出の場合、記入する必要はありません（7ページ2「特定施設使用届出」の場合、記入します。）。

カ 工事着手予定年月日

特定施設の工事に着手する予定年月日を記入してください。

届出年月日の60日以後の日付となります。

キ 工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日

特定施設の工事の完成予定年月日及び使用を開始する予定年月日を記入してください。

ク その他参考となるべき事項

「参考」欄には有害物質漏洩対策に係る、床面、周囲の構造、点検内容・頻度等について記入してください。

欄内に記入しきれない場合は「別添〇〇のとおり」と記入し、記入事項をとりまとめた資料を添付しても差し支えありません。

(5) 別紙2 特定施設の使用の方法

ア 工場又は事業場における施設番号

2ページ(3)アと同じです。

イ 特定施設号番号及び名称

2ページ(3)イと同じです。

ウ 設置場所

「別添〇〇のとおり」と記入し、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置図を添付してください。

エ 操業の系統

特定施設を含む操業の系統（生産工程図）を記入してください。

欄内に記入しきれない場合は「別添〇〇のとおり」と記入し、生産工程図を添付しても差し支えありません。

ただし、生産工程図において特定施設に該当する部分を色分け等により明示してください。

オ 使用時間間隔

（記入例） 8：30～12：00 13：00～17：00

カ 使用の季節的変動

特定施設の使用に関する季節的変動の概要について記入してください。

（記入例）変動なし

7～8月繁忙期（通常月の3倍の使用量）

キ 原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量

特定施設において使用する原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量を記入してください。

また、使用する原材料のSDS（安全データシート）を添付してください。

（記入例）酸又はアルカリによる表面処理施設の場合

原材料 : 鉄 10t 銅 20t

表面処理剤（補充量）: 硫酸 100kg

水酸化ナトリウム 200kg

ク 汚水等の汚染状態

特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水等の汚染状態（事業場からの排水の排水基準が適用される種類・項目のうち、当該特定施設由来の汚染物質に係るものに限る。）を記入してください。

なお、各種類・項目の濃度が不明の場合でも、種類・項目名は必ず記入してください。

ケ 汚水等の量

当該特定施設から排出される汚水等の量を記入してください。

コ その他参考となるべき事項

有害物質の製造・使用・処理状況について記入してください。

欄内に記入しきれない場合は「別添〇〇のとおり」と記入し、記入事項をとりまとめた資料を添付しても差し支えありません。

また、当該特定施設由来の廃液の種類、量及びその処理方法について記入してください。

（例：水酸化ナトリウム廃液 50L/月 廃アルカリとして産廃処理委託）

（6）別紙3 汚水等の処理の方法

汚水処理の系統が複数ある場合は、その系統ごとに記入欄1列を使用して記入してください。

特定施設からの汚水の処理施設だけでなく、工場又は事業場に設置する汚水等の処理施設（以下「処理施設」という。）全てについて記入してください（生活排水用の浄化槽等についても記入することになります。）。

ア 工場又は事業場における施設番号

工場又は事業場で付けている施設番号を記入してください。

ただし、番号ではなく名称を付けている場合はそれを記入しても差し支えありません。

複数の同種施設をまとめて記入欄1列に記入する場合、全ての施設番号を記入してください。

イ 処理施設の設置場所

「別添〇〇のとおり」と記入し、当該処理施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置図を添付してください。

ウ 設置年月日

新規の設置届出の場合、記入する必要はありません（7ページ2「特定施設使用届出」の場合、記入します。）。

エ 工事着手予定年月日

新規に設置（又は変更）する処理施設（下水道接続を含む）の工事に着手する予定年月日を記入してください。

届出年月日の60日以後の日付となります。

オ 工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日

新規に設置（又は変更）する処理施設（下水道接続を含む）の工事が完成する予定年月日及び使用を開始する予定年月日を記入してください。

カ 種類及び型式

メーカーカタログ、機器仕様書等からメーカー名、型式及び施設名称を記入してください。

（記入例）〇〇社製××型凝集沈殿処理施設

キ 構造及び主要寸法

構造及び主要寸法を記入してください。

欄内に記入しきれない場合は「別添〇〇のとおり」と記入し、カタログ、設計図等を添付しても差し支えありません。

なお、8ページ5の（6）～（10）に掲げる資料を必ず添付してください。

ク 能力

処理施設の処理能力を記入してください。

原則として最大に稼動した場合の能力を記入してください。

なお、処理施設の設計計算書を添付してください。

（記入例）BODの除去効率95%（最大：300→15mg/L）

〇〇m³/日

ケ 処理の方式

（記入例）凝集沈殿処理、活性汚泥処理等

コ 処理の系統

（記入例）凝集沈殿処理 → 活性炭吸着処理 → 中和

サ 集水及び導水の方法

汚水等の集水及び処理施設までの導水方法について記入してください。

（記入例）集水槽（300m³）に集水後、ポンプアップにより処理施設に移送する。

シ 使用時間間隔

（記入例）8：30～12：00 13：00～17：00

ス 使用の季節的変動

処理施設の使用に関する季節的変動の概要について記入してください。

（記入例）変動なし

7～8月繁忙期（通常月の3倍の処理量）

セ 消耗資材の1日当たりの用途別使用量

処理施設において中和、凝集、酸化その他の反応の用に供する消耗資材の1日当たりの用途別使用量を記入してください。

（記入例）中和用塩酸 10L/日、水酸化ナトリウム 5kg/日

滅菌剤 約100g/日

ソ 汚水等の汚染状態及び量

処理施設の使用時における処理前（処理施設へ流入する原水）及び処理後の汚水等の汚染状態（事業場

からの排出水の排水基準が適用される種類・項目のうち、当該処理施設に流入する汚染物質に係るものに限る。)の通常値及び最大値、当該汚水等の通常量及び最大量を記入してください。

タ 残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法

汚水等の処理によって生ずる残さの種類、1月間の種類別生成量及びその処理方法の概要を記入してください。

(記入例) 汚泥 10 m³/月 (産廃として〇〇に処理委託)
汚泥 (合併浄化槽) 2 m³/月 (〇〇清掃組合に処理委託)

チ 排出水の排出方法

排出口の位置、数及び排出先も含めて記入してください。

(記入例) 生活系排水口 (側溝→農業用排水路→〇〇川)
生産工程系排水口 (側溝→〇〇工業団地専用排水路→〇〇川)

ツ その他参考となるべき事項

変更届出の際の変更理由及び変更の概要等について記入してください。

欄内に記入しきれない場合は「別添〇〇のとおり」と記入し、記入事項をとりまとめた資料を添付しても差し支えありません。

(7) 別紙4 排出水の汚染状態及び量

当該事業場からの排出水について、排水口別に記入してください。

なお、排出水とは当該事業場から公共用水域へ排出される全ての水であり、雨水も含まれます。排水口が複数ある場合には、排水口ごとに欄を分けて記入してください。

ア 工場又は事業場における施設番号

当該工場又は事業場の敷地境界から排水を排出する排水口の施設番号を記入してください。ただし、番号ではなく名称を付けている場合はそれを記入しても差し支えありません。

(記入例) 排水口が1つの場合→最終排水口
排水口が複数の場合→生活系、生産工程系、雨水系

イ 排出水の汚染状態

排水口ごとの排出水の水質を記入してください。

排水基準が適用される種類・項目を記入してください(原則として上記(6)ソの種類・項目となります。)

排出水の汚染状態は、水質の自主測定結果又は排水処理施設の設計値を参考に記入してください。

雨水のみが排水される排水口については、汚染状態を記入する必要はありません。

ウ 排出水の量

排水口ごとの1日の排水量を記入してください。

エ その他参考となるべき事項

(ア) 排水の排出先の公共用水域(下流側)の利水状況を分かる範囲で記入してください。

(イ) 排出水の汚染状態の基礎となった資料(自主測定結果又は設計値等)の概要(測定年月日、設計書名等)を記入してください。

(ウ) 工場又は事業場が公共下水道供用区域内に位置するかどうか記入してください。

(記入例)

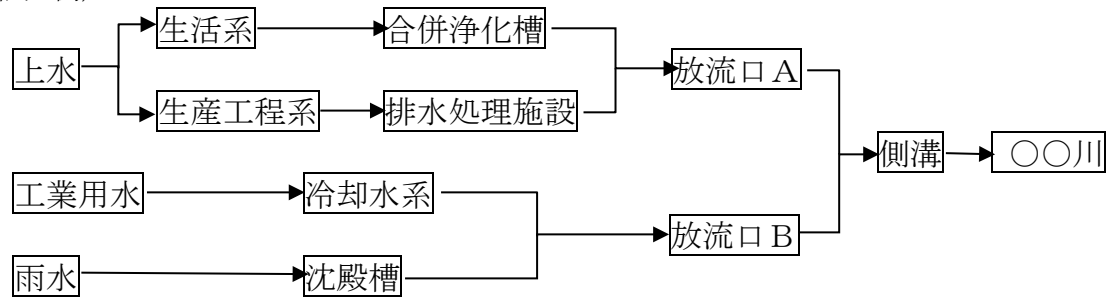
- ・ 排出先は〇〇川であるが、当工場の排水箇所より下流で農業用水として使用されている。
- ・ 上記「排出水の汚染状態」は、H〇. 〇. 〇~H〇. 〇. 〇までの自主測定結果を参考とした。
- ・ 上記「排出水の汚染状態」は、排水処理施設と合併処理浄化槽からの排出水が合流するので、各施設の別紙設計書から各種類・項目別に加重平均した。
- ・ 当工場は公共下水道供用区域内に位置している。

(8) 別紙6 用水及び排水の系統

ア 用水及び排水の系統

使用水の種類、当該工場における用途及び放流先（河川、湖沼又は海域等の主たる公共用水域まで）をフロー図としてください。

（記入例）



イ 用途

使用水の用途（ボイラー用水、原料用水、洗浄水、冷却水、生活用水等）を記入してください。

ウ 使用水

使用水の種類（上水道、工業用水、地下水、河川水、海水等）を記入してください。

エ 用水使用量

通常使用量を記入してください。

2 特定施設使用届出

特定施設使用届出は、法改正により、従来は法で規制されていなかった施設が特定施設として追加指定された場合に必要となります。

届出期限は、追加指定のあった日から30日以内です。

届出様式、別紙、図面等は「1 特定施設設置届出」と同じです。

ただし、以前届出されている別紙、図面等の内容に変更がない場合は、それらを添付する必要はありません。

3 特定施設変更届出

特定施設変更届出は、以下の事項を変更しようとする場合に行います。

- ・ 特定施設の構造
- ・ 特定施設の設備
- ・ 特定施設の使用の方法
- ・ 汚水等の処理の方法
- ・ 排出水の汚染状態及び量
- ・ 用水及び排水の系統

※ 特定施設設置届出と同様に工事に着手する60日前までに届出が必要です。

届出様式、別紙、図面等は「1 特定施設設置届出」と同じです。

ただし、添付する別紙、図面等は当該変更に係るもののみで構いません。

(1) 別紙関係

変更事項に係る別紙（様式）の欄外上部に「変更前」「変更後」と記入し、変更前と変更後の内容を併記してください。

変更に係る別紙（様式）の記入方法については1の(3)以下を参照してください。

(2) 別紙図面等関係

変更事項に係る図面等については、変更前と変更後の両方の図面等を添付してください。

4 水質汚濁防止法で定められた様式以外の書面

届出書の書面の中には、水質汚濁防止法で定められた様式や別紙の他に、図面等任意で作成の必要なものがあります。

必要に応じて下記資料を添付してください。

- (1) 工場・事業場とその付近の見取り図
- (2) 工場・事業場の建物の配置図
- (3) 特定施設、特定施設の設備及び汚水等の処理施設の設置場所を示す図面及び主要施設の配置図
- (4) 特定施設の構造概要図（主要寸法を記入したもの）
- (5) 特定施設を含む操業系統概要図
- (6) 特定施設の設備の構造概要図（主要寸法を記入したもの）
- (7) 処理施設の構造概要図（主要寸法を記入したもの）
- (8) 汚水等の処理の系統概要図
- (9) 処理施設の仕様書、設計計算書
- (10) 汚水等の集水及び汚水等の処理施設までの導水方法及び図面
- (11) 排水口の位置及び排水先（主たる公共用水域）を示す図面
- (12) 工程で使用する化学物質の名称及び量並びに SDS（安全データシート）
- (13) 特定施設及び排水処理施設の維持管理に関する事項（運転マニュアル、運転チェックリスト等）
- (14) その他資料（特定施設・排水処理施設等を設置・変更する経緯、事故発生時の緊急通報体制等）
- (15) 発生源施設等一覧（任意様式として下記のホームページからダウンロード可能）
- (16) 工場・事業場概要（任意様式として下記のホームページからダウンロード可能）

5 一般的注意事項

- ・ 届出書の作成に当たっては、読みやすく、はっきりと書いてください。
また、記入漏れ等のないよう十分確認してください。
- ・ 届出書は正本を1部提出してください。
- ・ 用紙の大きさは図面等のやむを得ないものを除き、日本工業規格A4の大きさとしします。
また、可能な限り大きな図面等もA4の大きさに折りたたむようにしてください。
- ・ 押印以外はコピー又はカラーコピーを使用して差し支えありません。
- ・ 様式は受付窓口で入手するか、福島県水・大気環境課のホームページからダウンロードしてください。
ホームページアドレス <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16035c/>

6 届出書の提出先及び相談窓口

市町村	窓口	住所 電話 FAX
県北 (二本松市 伊達市 本宮市 桑折町 国見町 川俣町 大 玉村)	県北地方振興局 県民環境部 環境課	〒 960-8670 福島市杉妻町 2-16(北庁舎 4階) TEL 024-521-2721 FAX 024-521-2855
県中 (須賀川市 田村市 鏡石町 天栄村 石川町 玉川村 平 田村 浅川町 古殿町 三春 町 小野町)	県中地方振興局 県民環境部 環境課	〒 963-8540 郡山市麓山 1-1-1 TEL 024-935-1503 FAX 024-925-9026
県南 (白河市 西郷村 泉崎村 矢吹町 中島村 棚倉町 鮫 川村 塙町 矢祭町)	県南地方振興局 県民環境部 環境課	〒 961-0971 白河市昭和町 269 TEL 0248-23-1421 FAX 0248-23-1507
(会津若松市 喜多方市 北 塩原村 西会津町 磐梯町 猪苗代町 会津坂下町 湯川 村 柳津町 三島町 金山町 昭和村 会津美里町)	会津地方振興局 県民環境部 環境課	〒 965-8501 会津若松市追手町 7-5 TEL 0242-29-3912 FAX 0242-29-5520
南会津 (只見町 檜枝岐村 南会津 町 下郷町)	南会津地方振興局 県民環境部 県民環境課	〒 967-0004 南会津郡南会津町田島字 根小屋甲 4277-1 TEL 0241-62-2062 FAX 0241-62-5209
相双 (相馬市 南相馬市 葛尾村 浪江町 双葉町 大熊町 川 内村 富岡町 楡葉町 広野 町 新地町 飯館村)	相双地方振興局 県民環境部 環境課	〒 975-0031 南相馬市原町区錦町 1-30 TEL 0244-26-1232 FAX 0244-26-1120

※ 福島市、郡山市、いわき市については、それぞれ市が窓口となります。

記入例

様式第1（第3条関係）（表面）

届出日を和暦で記入してください

特定施設 ~~（有害物質貯蔵指定施設）~~ 設置 ~~（使用、変更）~~ 届出書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

該当する事項以外は——で消してください。

福島県知事 殿

届出を行う者の郵便番号、住所、氏名、電話番号、法人にあっては代表者の職名、氏名、名称及び所在地（登記簿上の本店又は主たる事務所の所在地）を記入し、代理人（例えば工場長）が届け出る場合は、代表者からの委任状を添付してください。

届出者

東京都〇〇区〇〇1丁目1番1号
株式会社〇〇〇
代表取締役 〇〇〇〇
郵便番号(〒〇〇〇-〇〇〇〇)
電話番号(03-〇〇〇〇-1234)

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）~~の規定により、特定施設 ~~（有害物質貯蔵指定施設）~~ について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		株式会社〇〇〇 福島工場		
工場又は事業場の所在地		〇〇市〇〇町〇〇番地の〇〇		
第5条第1項関係	特定施設の種類	65 酸又はアルカリによる表面処理施設 1基 66 電気めっき施設 1基	※整理番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※受理年月日	年 月 日
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※施設番号	
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。	※審査結果	
△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。			
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類		※備考	
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		
第5条第3項関係	有害物質使用特定施設 又は 有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設 又は 有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設 又は 有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設 又は 有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

様式第1 (裏面)

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載してください。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入してください。
なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出は要しません。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入してください。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用してください。
- 5 ※印の欄には、記載しないでください。
- 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けてください。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させてください。
- 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4としてください。

20ページの「工場・事業場概要」の様式も参照。

参考

主要製品の名称・ 生産額及び出荷額	資本金	〇〇〇円	敷地面積	1500m ²
製品名 ◇◇◇ 生産額 〇〇〇円 出荷額 〇〇〇円	従業員数	250人	作業場面積	〇〇m ²
	業種	〇〇〇業	現在の地での 操業年月日	平成〇年〇月〇日
	用途地域	工業地域	操業時間	8:00~18:00
	公害防止担当部 課及び担当者	〇〇課 〇〇 〇〇 電話(〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇) FAX(〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇) E-mail(〇〇〇@〇〇〇〇.jp)		

~~排水指定施設~~
特 定 施 設
~~有害物質使用排水指定施設~~
有害物質使用特定施設

届出日 を 和 暦 で 記 入
し て く だ さ い

平成〇〇年〇〇月〇〇日

設置（使用・変更）届出書

届出を行う者の郵便番号、住所、氏名、電話番号、法人にあっては代表者の職名、氏名、名称及び所在地（登記簿上の本店又は主たる事務所の所在地）を記入し、代理人（例えば工場長）が届け出る場合は、代表者からの委任状を添付してください。

届出者

該当する事項以外は——で消してください。

〒〇〇〇-〇〇〇〇
東京都〇〇区〇〇1丁目1番1号
株式会社〇〇〇
代表取締役 〇〇〇〇
電話番号 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

福島県生活環境の保全等に関する条例 ~~第 30 条第 1 項、第 41 条第 1 項、第 43 条第 1 項又は第 43 条第 3 項（第 31 条第 1 項、第 32 条第 1 項、第 44 条）~~ の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		株式会社〇〇〇福島工場	※ 整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地		00市00町00番地の00	※ 受 付 年 月 日	年 月 日
第 30 条 第 1 項 及 び 第 41 条 第 1 項 関 係	排水指定施設（特定施設）の種類	65 酸又はアルカリによる 表面処理施設 1基 66 電気めっき施設 1基	※ 施 設 番 号	
	排水指定施設（特定施設）の構造	別紙1のとおり	※ 審 査 結 果	
	排水指定施設（特定施設）の使用の方法	別紙2のとおり	※ 備 考	
	汚水等の処理の方法	別紙3のとおり		
	指定事業場排水（特定事業場排水）の汚染状態及び量	別紙4のとおり		
	指定事業場排水（特定事業場排水）に係る用水及び排水の系統	別紙5のとおり		
第 43 条 第 1 項 及 び 第 43 条 第 3 項 関 係	有害物質使用排水指定施設（法定外有害物質使用特定施設）の種類			
	有害物質使用排水指定施設（法定外有害物質使用特定施設）の構造	別紙6のとおり		
	有害物質使用排水指定施設（法定外有害物質使用特定施設）の使用の方法	別紙7のとおり		
	汚水等の処理の方法	別紙8のとおり		
	地下浸透水の浸透の方法	別紙9のとおり		
	地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙10のとおり		
業 種 及 び 事 業 の 内 容		2464 電気めっき業		

備考

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。
- 2 排水指定施設（特定施設）の種類及び有害物質使用排水指定施設（法定外有害物質使用特定施設）の種類欄には、福島県生活環境の保全等に関する条例施行規則（平成8年福島県規則第75号）第20条に掲げる号番号及び名称（特定施設にあっては、水質汚濁防止法施行令（昭和46年政令第188号）別表第1に掲げる号番号及び名称）を記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。
- 4 変更の届出の場合は、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 業種については、日本標準産業分類の分類表に定められた細分類により記入すること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1	No. 2
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	66 電気めっき施設
型 式	〇〇社製 ◇◇型	□□社製 △△型
構 造	別添図3のとおり	別添図3のとおり
主 要 寸 法	別添図3のとおり	別添図3のとおり
能 力	原材料〇〇kg/時	原材料〇〇kg/時
配 置	別添図2のとおり	別添図2のとおり
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	平成 ○年 ○月 ○日	平成 ○年 ○月 ○日
工事完成予定年月日	平成 ○年 ○月 ○日	平成 ○年 ○月 ○日
使用開始予定年月日	平成 ○年 ○月 ○日	平成 ○年 ○月 ○日
その他参考となるべき事項		<p>特定施設設置場所の床は、汚水等の地下浸透防止のため、耐酸・耐アルカリ樹脂ライニング処理を行う。 床は側溝内設置とする。</p> <p>別紙1の2を参照</p>

備考

- 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置について図面を利用して記載してください。(添付第()図のとおり)
- 2 特定施設の構造等の変更、特定施設の増設及び一部廃止の場合は変更内容を対照してください。(添付第()表のとおり)
- 3 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載してください。(「別紙1の2を参照」と記載してください。)

特定施設の設備

有害物質を使用していないのであれば記入不要

工場又は事業場における施設番号		No. 2
特定施設番号及び名称		66 電気めっき施設
設 備		地上配管、排水溝、ためます
構 造		配管 ステンレス製 排水溝、ためます コンクリート製、厚さ〇mm (別紙設計書のとおり)
主 要 寸 法		地上配管 50A×20m 排水溝 幅 300mm×深さ 200mm×10m ためます 500mm×500mm×400mm
配 置		工場棟 1 階 (別添図 2 工場敷地内の配置図のとおり)
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	平成 年 月 日	平成 〇年 〇月 〇日
工事完成予定年月日	平成 年 月 日	平成 〇年 〇月 〇日
使用開始予定年月日	平成 年 月 日	平成 〇年 〇月 〇日
その他参考となるべき事項		

備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式の提出は要しません。有害物質を使用等する施設のみ記載してください。

2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置について図面を利用して記載してください。

参考

床 面		耐酸・耐アルカリ樹脂ライニング処理
周囲の構造		露出配管 ためます (容量〇m ³)
点検内容・頻度等		<ul style="list-style-type: none"> ・床面及び周囲：ひび割れ、被覆の損傷の有無 (月 1 回以上) ・施設本体：損傷、漏えいの有無 (毎日) ・付帯する配管等：損傷、漏えいの有無 (月 1 回以上) ・排水溝等：ひび割れ等の有無 (月 1 回以上) ・使用の方法：管理要領等の見直し (年 1 回以上)

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号		No. 1		No. 2	
特定施設番号及び名称		65 酸又はアルカリによる表面処理施設		66 電気めっき施設	
設置場所		別添図2のとおり		別添図2のとおり	
操業の系統		別添図4のとおり		別添図4のとおり	
使用時間間隔		8:00~18:00		8:00~18:00	
1日当たりの使用時間		10時間		10時間	
使用の季節的変動		なし		なし	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		鉄 〇〇 t 脱脂剤 〇〇 kg 水酸化ナトリウム 〇〇 kg		クロム酸（六価クロム〇%含有） 〇〇 kg シアン化ナトリウム 〇〇 kg 硫酸 〇〇 kg 水酸化ナトリウム 〇〇 kg 亜鉛 〇〇 kg	
汚水等の汚染状態	種類・項目（単位）	通常	最大	通常	最大
	pH	〇 ~ 〇		〇 ~ 〇	
	BOD (mg/L)	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
	SS (mg/L)	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
	Cr (VI) (mg/L)			〇〇	〇〇
	CN (mg/L)			〇〇	〇〇
	Zn (mg/L)			〇〇	〇〇
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	通常	最大	通常	最大
	15	15	30	25	40
その他参考となるべき事項		<ul style="list-style-type: none"> 有害物質の使用等はない。 廃液を50L/月、産廃として処理委託する。 		<ul style="list-style-type: none"> 有害物質（シアン化合物、六価クロム化合物）を使用している。 廃液を100L/月、産廃として〇〇に処理委託する。 	

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載してください。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		A系統 (工程排水処理施設)				B系統 (生活排水処理施設)			
処理施設の設置場所		別添図2のとおり				別添図2のとおり			
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		平成 ○年 ○月 ○日				平成 ○年 ○月 ○日			
工事完成予定年月日		平成 ○年 ○月 ○日				平成 ○年 ○月 ○日			
使用開始予定年月日		平成 ○年 ○月 ○日				平成 ○年 ○月 ○日			
種類及び型式		◇◇社製□□型排水処理施設				合併処理浄化槽(70人槽)			
構造		FRP、鋼板、コンクリート製				FRP一体型			
主要寸法		別添図5のとおり				別添図5のとおり			
能力		70 m ³ /日				14 m ³ /日			
処理の方式		還元、アルカリ塩素法、中和、凝集沈殿、活性炭吸着				接触ばっき方式			
処理の系統		別添図4のとおり				別添図4のとおり			
集水及び導水の方法		別添図2のとおり				別添図2のとおり			
使用時間間隔		連続使用				連続使用			
1日当たりの使用時間		24時間				24時間			
使用の季節変動		なし				なし			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		亜硫酸ソーダ ○○ kg 次亜塩素酸ソーダ ○○ kg 水酸化ナトリウム ○○ kg 硫酸 ○○ kg 高分子凝集剤 ○○ kg				次亜塩素酸カルシウム ○○ g			
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目(単位)	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	3.0~11.0	6.0~8.0	2.0~12.0	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0	5.0~8.0	6.0~8.0
	BOD	50	15	60	20	150	10	200	20
	SS	100	15	200	20	150	30	200	50
	CN	5	<0.1	10	0.3				
	Cr(VI)	5	<0.02	10	0.2				
	T-Cr	5	0.5	10	1				
	Zn	10	0.5	20	2				
	大腸菌群数					不明	<3,000	不明	<3,000
量(m ³ /日)	40	40	70	70	5	5	14	14	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		汚泥 ○t/月(脱水処理後業者委託) (収集・運搬、処分 ○○工業株) 活性炭 ○t/月(再生 ○○株)				汚泥 ○t/月(市許可業者委託) (○○○で処理)			
排出水の排出方法		放流槽からポンプアップ 排出水の排出先 工業団地排水路 → ○○川				放流槽からポンプアップ 排出水の排出先 工業団地排水路 → ○○川			
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載してください。

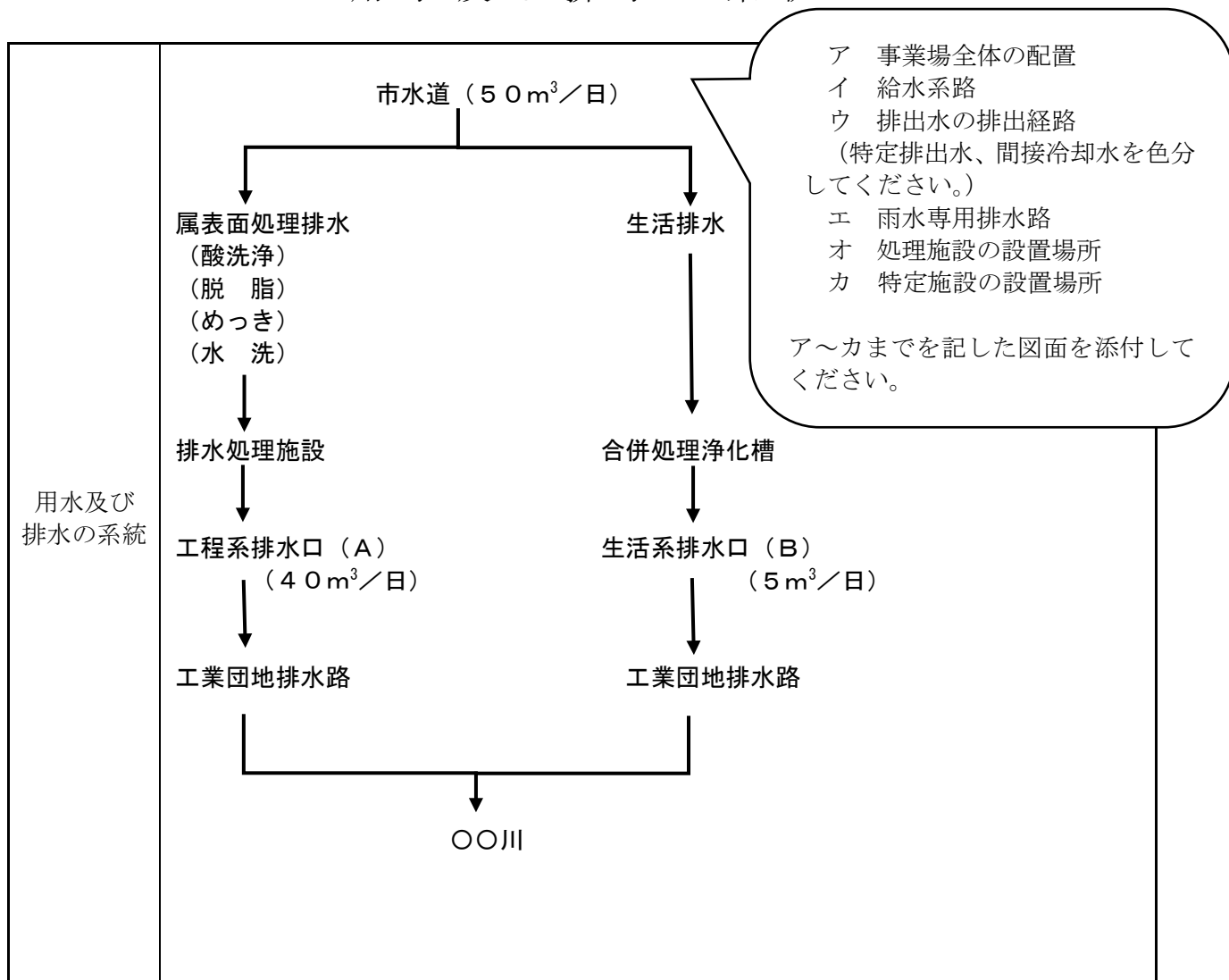
2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載してください。

排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号 (排水口の名称)		工程系排水口 (A)		生活系排水口 (B)	
排水水の汚染状態	種類・項目 (単位)	通常	最大	通常	最大
	pH	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0
	BOD	15	20	10	20
	SS	15	20	30	50
	CN	<0.1	0.3		
	Cr(VI)	<0.02	0.2		
	T-Cr	0.5	1		
	Zn	0.5	2		
	大腸菌群数			<3,000	<3,000
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		40	70	5	14
その他参考となるべき事項		<ul style="list-style-type: none"> ・ 排出先は〇〇川であるが、当工場の排水箇所より下流で農業用水として使用されている。 ・ 上記「排水水の汚染状態」は、HO. O. O~HO. O. Oまでの自主測定結果を参考とした。 ・ 当工場は公共下水道供用区域内に位置している。 			

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排出基準に定められた事項について記載してください。

用水及び排水の系統



用途別 用水使用量	用 途	使 用 水	用水使用量 (m ³ /日)
	製品処理洗浄排水	上 水 道	40
	ボイラー用水	上 水 道	5
	生活用水	上 水 道	5
合 計			50

発生源施設等一覧

区分	届出内容	変更前			設置・使用・変更・廃止			変更後		
		発生源施設等の種類			発生源施設等の種類			発生源施設等の種類		
		項番号	名称	台数	項番号	名称	台数	項番号	名称	台数
福島県生活環境の保全等に関する条例	1 ばい煙指定施設 (1) 設置 (2) 使用 (3) 変更									
	2 一般粉じん指定施設 (1) 設置 (2) 使用 (3) 変更									
	3 特定粉じん指定施設 (1) 設置 (2) 使用 (3) 変更									
	4 排水指定施設 (1) 設置 (2) 使用 (3) 変更									
大気汚染防止法	1 ばい煙発生施設 (1) 設置 (2) 使用 (3) 変更									
	2 一般粉じん発生施設 (1) 設置 (2) 使用 (3) 変更									
	3 特定粉じん発生施設 (1) 設置 (2) 使用 (3) 変更									
	4 揮発性有機化合物排出施設 (1) 設置 (2) 使用 (3) 変更									
水質汚濁防止法	1 特定施設 (1) 設置 (2) 使用 (3) 変更				65	酸又はアルカリによる表面処理施設	1基	65	酸又はアルカリによる表面処理施設	1基
	2 有害物質使用特定施設 (1) 設置 (2) 使用 (3) 変更				66	電気めっき施設	1基	66	電気めっき施設	1基
	3 有害物質貯蔵指定施設 (1) 設置 (2) 使用 (3) 変更									

- 備考 1 届出内容の欄は、該当する番号に○印を付すこと。
 2 設置・使用・変更・廃止の欄は、該当する届出を○で囲み、届出に係る発生源施設等の種類について、関係法令に規定する項番号及び名称を記載すること。なお、届出によって発生源施設等の数が変更になる場合は、変更前と変更後の欄にも記載すること。
 3 福島県生活環境の保全等に関する条例の項の発生源施設等の種類の欄には、法に規定する特定施設等以外の発生源施設、振動発生源施設、悪臭発生源施設等について記載すること。
 4 当該様式は任意様式である。

工場・事業場概要

1	常時使用する従業員の数	250 人				
2	公害防止担当部局 担当者・連絡先	〇〇課 〇〇 〇〇 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 FAX 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇				
3	主要生産品目	◇◇◇	□□□			
4	生産量（年量）	200t	3000個			
5	主要原材料 種類及び 年間使用量	△△	200t/年	▽▽	3000 個/年	/年
		◇◇	500L/年	□□	1000L/年	/年
			/年		/年	/年
			/年		/年	/年
6	製造方法	別紙製造工程表のとおり。				
7	施設規模(工場は除く。)	※事業場の記載例：宿泊数 200 人、牛の飼育頭数 300 頭				
8	全建物の配置及び用途	別紙平面図のとおり。				
9	敷地面積(m ²)	1500				
10	燃 料	種 類	用 途	硫黄分(重量%)	年当たり使用量	
		灯油	ボイラーの燃料	0.005	2000L	

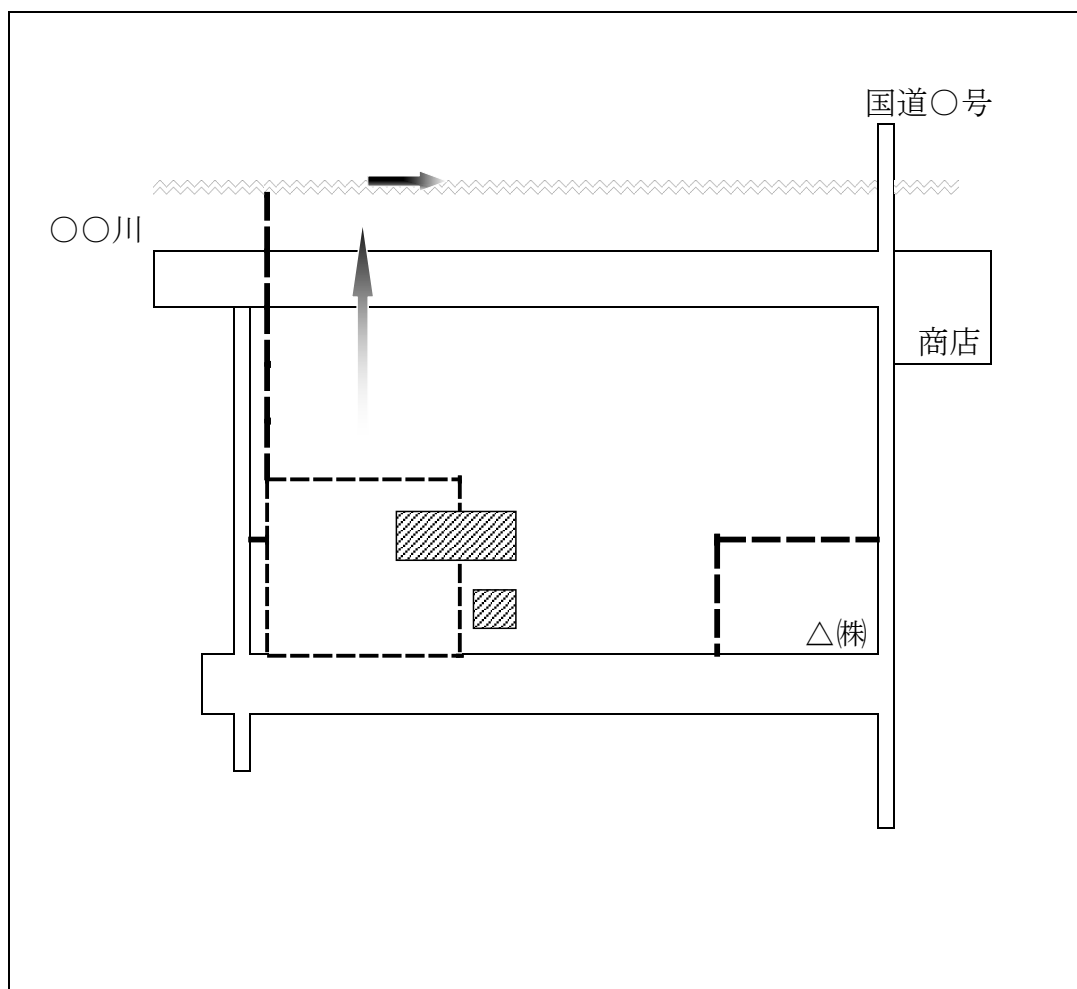
(備考)

- ・ 「1 常時使用する従業員の数」について、本社及び全国の支社・出張所等を含めた、すべての事業所の従業員数の合算を記入すること。
- ・ 「6 製造方法」について、品目別の製造工程表を添付し、当該製造工程表に公害原因物質等の発生箇所を記載すること。
- ・ 「7 施設規模」について、事業場に応じて、飼育頭数、宿泊数、収容人員、ベッド数、厨房面積等を記載すること。(記載例： 宿泊数 200人)
- ・ 「8 全建物の配置及び用途」について、工場・事業場の平面図を添付し、当該平面図に建物の用途を記載すること。
- ・ 当該様式は任意様式であり、原則として工場・事業場新設時に提出すること。

図1

事業場の周辺見取図

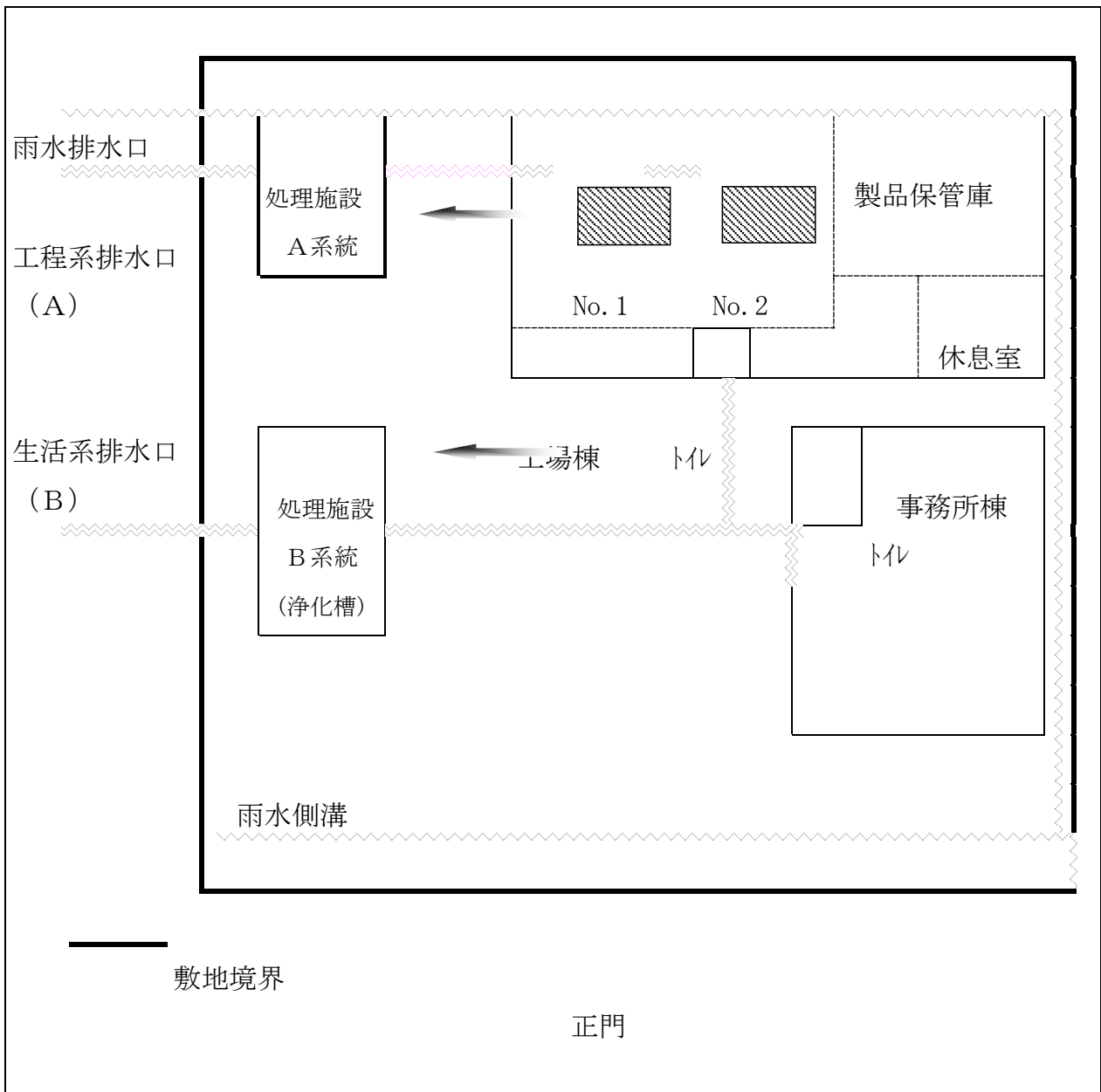
株式会社〇〇〇 福島工場 (〇〇市〇〇町〇〇番地の〇〇)



※ 住宅地図等のコピーに、工場の位置及び排水経路を明示する。

図 2

工場敷地内の配置図

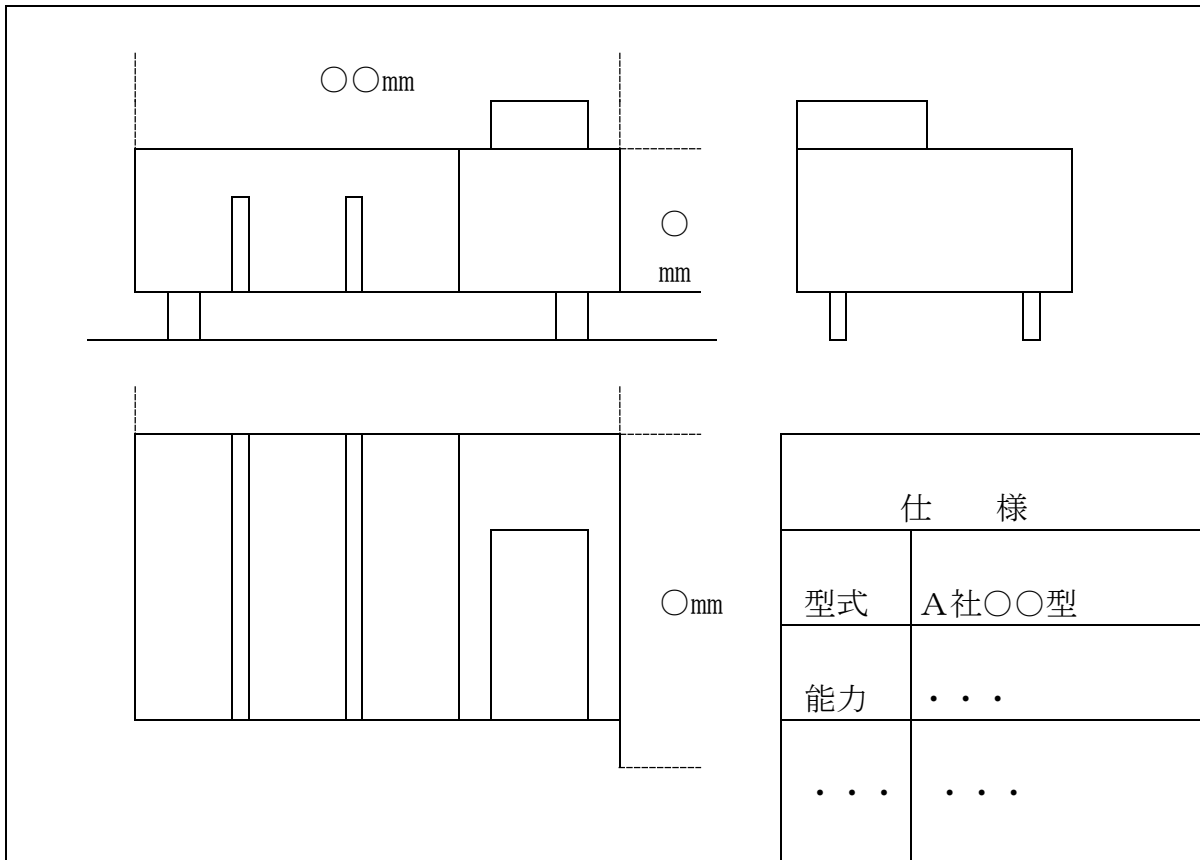


No. 1→65 酸又はアルカリによる表面処理施設 1基 No. 2→66 電気めっき施設 1基

※ 特定施設、排水経路、排水口を記入する。(排水、処理水、雨水毎に色分けすることが望ましい。)

特定施設の構造図

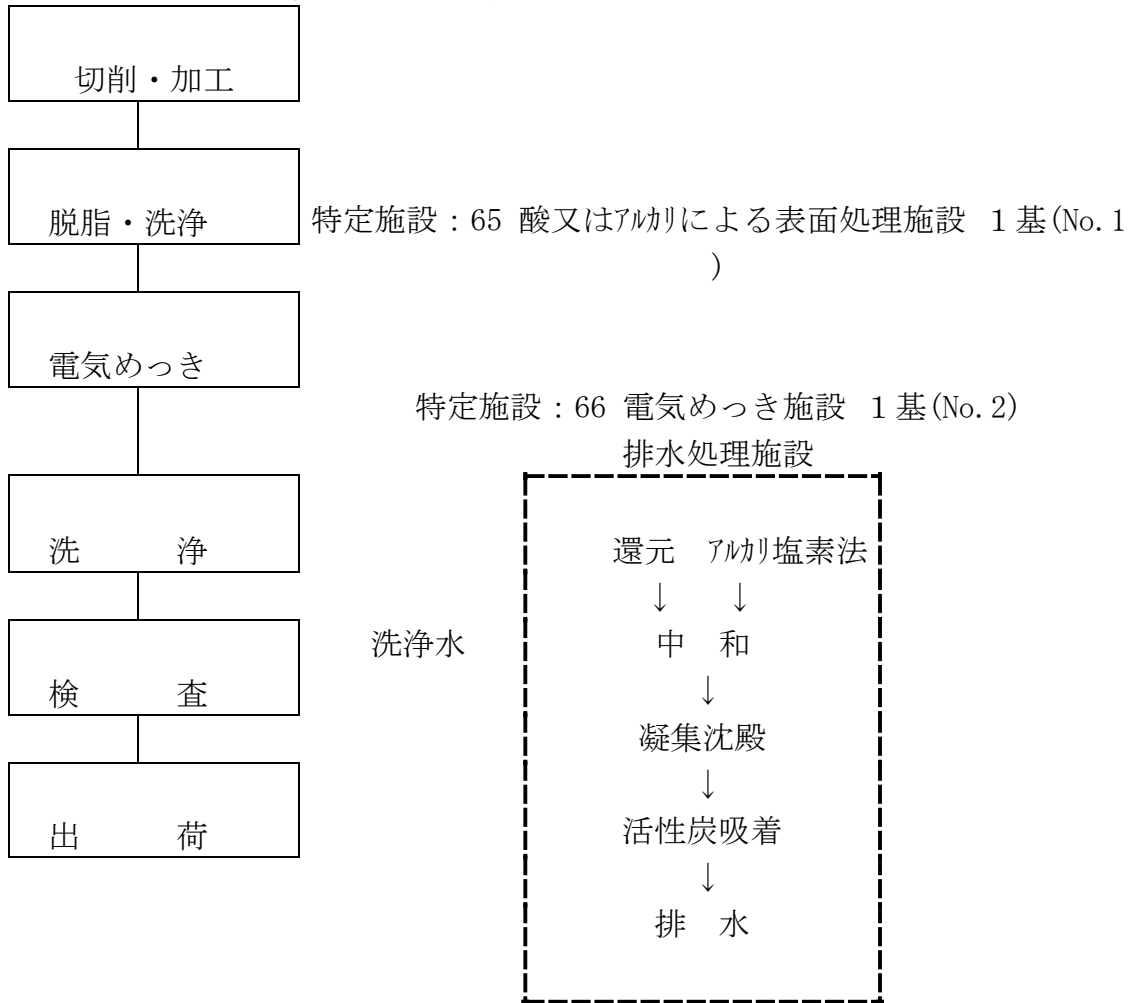
65 酸又はアルカリによる表面処理施設 (No. 1)



※ 主要寸法を記載した特定施設の構造概要図（カタログ、設計書等の写しでも可。）

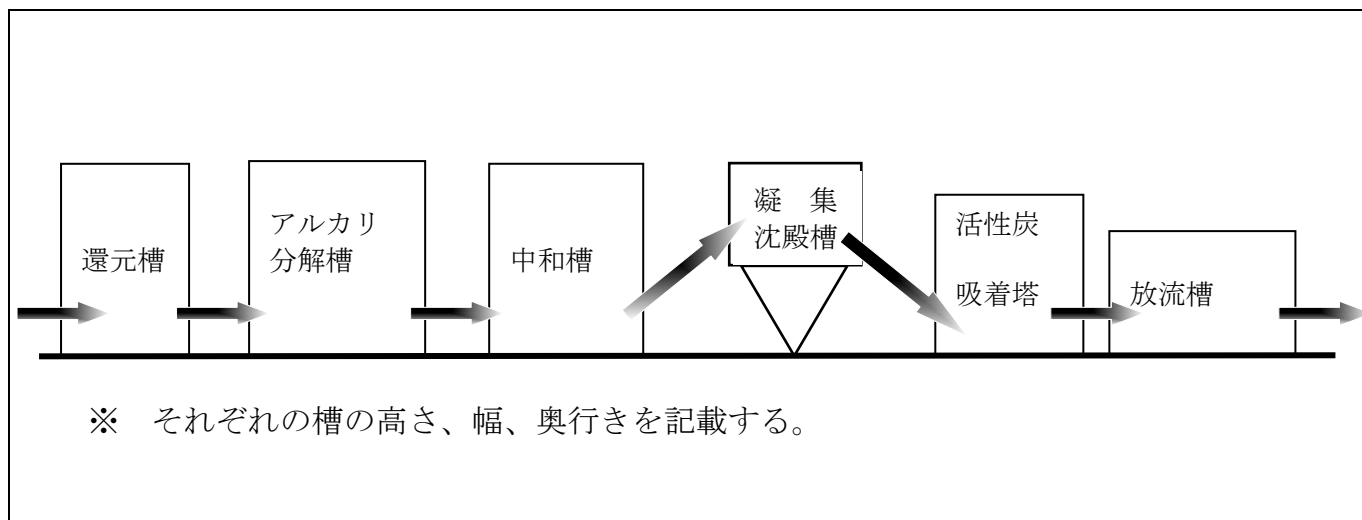
図 4

操 業 系 統 図(含む汚水等処理系統図)



※ 汚水等の処理系統図をより詳細に別紙にすることが望ましい。
排水処理施設メーカーが作成した処理フロー図等の写しでも可。

排水処理施設の構造概要図



※ 排水処理施設の処理能力に関する設計計算書等を添付すること。